

信州大学医学部附属病院 眼科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年6月1日

「加齢黄斑変性診療におけるコロナ禍の影響の検証」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5170
研究課題名	加齢黄斑変性診療におけるコロナ禍の影響の検証
所属(診療科等)	眼科
研究責任者(職名)	家里 康弘(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年12月31日
研究の意義、目的	コロナ禍による受診遅れや治療中断の影響を明らかにすることを目的とした研究で、視力予後や医療体制の改善に貢献すると考えられます。
対象となる方	2017年1月1日から2021年3月31日の期間に当院で加齢黄斑変性について医療を受けられた方
利用する診療記録／ 検体	診断名、年齢、性別、眼科所見、検査結果、治療回数など
他機関への試料・情 報の提供方法	暗号化電子メールにより提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、加齢黄斑変性と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	兵庫医科大学(責任者:五味文)、市立札幌病院(責任者:今泉寛子、青木修一郎)、徳島大学(三田村佳典)、奈良県立医科大学(辻中大生) 鹿児島大学(寺崎寛人)、防衛医科大学(竹内大)、三重大学(松原央) 滋賀医科大学(澤田智子)、東京医科大学八王子医療センター(安田佳奈子・新留 絵里菜)、聖路加国際病院(小沢洋子)、山口大学(湧田真紀子・木村和博)、久留米大学(春田雅俊・加藤喜大)、日本大学板橋病院(横田 陽匡)、筑波大学(村上 智哉)、ツカザキ病院(山内知房・永里大祐)
研究代表者	主任施設の名称:兵庫医科大学 研究責任者:五味文
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 家里康弘(眼科・助教) 電話:0263-37-2664

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査】の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である兵庫医科大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。